



私たちはこの笑顔を守ります

「令和8年 二十歳を祝う会」

令和7年 第4回対馬市議会定例会の概要

令和7年第4回定例会が、12月2日から12月15日(14日間)の日程で開かれ、提出議案等について審議されました。

議案第66号 令和7年度対馬市一般会計補正予算(第7号)では、対馬地域商社に対する出資金について賛否がわかれてきました。諸松議員から提出された修正案は賛成少数で否決されましたが、原案は賛成多数で可決されました。詳細については、下段【特集ピックアップ】に掲載しています。

区 分	件 名	議決の結果
認 定 8件	令和6年度対馬市一般会計歳入歳出決算の認定について ほか	全件認定
予算案 7件	令和7年度対馬市一般会計補正予算(第7号) ほか	全件可決
条例案 8件	対馬市一般職員特殊勤務手当条例の一部を改正する条例 ほか	全件可決
議決案 14件	対馬市コミュニティーセンターの指定管理者の指定について ほか	全件可決
同意案 14件	対馬市農業委員会委員の任命について	全件同意

議案、審議結果は対馬市議会ホームページに掲載しています。

議 案



審議結果



3月定例会のお知らせ

令和8年第1回定例会は、2月下旬に開催を予定しています。

※日程は、議会運営委員会で協議された後、ケーブルテレビ、議会ホームページに掲載しますので、ご確認ください。



特集 ピックアップ

議会ではどう議論された?

【対馬地域商社への出資】 令和7年度対馬市一般会計補正予算(第7号)

議案第66号のうち、対馬地域商社に対する出資金5,000万円について、2日間にわたる産業建設委員会、その後の本会議にて慎重審査された結果、賛成多数で可決されました。

近年の原料価格の高騰等から仕入れ不足が発生し、対馬地域商社は資金繰りが厳しい状況にあります。今後、安定的な仕入れ基盤の構築と生産体制を確立し、売上拡大による対馬の地域経済の活性化に向けて、対馬市が5,000万円を出資する議案に、議会は最終的に可決しました。

産業建設委員会での協議と結論

- 雇用維持や漁業者所得の確保のため、厳しい資金繰りに対する早急な資金拠出が必要
- 出資金か貸付金かの妥当性、経営責任者の不在、中長期的な経営計画や経営体制の見直し、事業者への二重調査不足、未利用魚の活用への検討、新たな市場開拓(高付加価値化)、ふるさと納税返礼品の強化、専門的人材の採用などの課題への対応

事業継続のため出資は必要と判断。ただし、公益性の追求や経営改革、事業計画の練り直し、市・議会の継続的関与の強化を提言しました。

本会議での討議

諸松議員	出資金の減額及び段階的な支援を提案する修正案を提出
脇本議員	財務諸表の信頼性への疑義、杜撰な監督指導体制、出資金支出の適法性への疑義、貸付けの検討などの指摘
上野議員	事案の緊急性や市の丁寧な説明、経営改善への期待を込めて賛成

◎修正案は、賛成少数で否決(※1)

◎原案は、賛成多数で可決(※2)

(※1) 修正案に賛成の議員(諸松、針谷、吉野)

(※2) 原案に反対の議員(脇本、諸松、針谷)

特集 令和6年度決算審査の結果（解説）



決算審査特別委員会では、市民の皆さんが納めた税金や国等からの交付金等が住民の福祉の増進に適切に使われたかをチェックしています。市のお金は、社会福祉の充実や各種産業支援など、市民の皆さんのために使われるお金です。議会は、分かりやすくお伝えしながら、責任ある判断をしていきます。

令和6年度対馬市一般会計の決算額は、歳入342億424万円、歳出334億5,916万円でした。

※詳細は令和8年1月号広報つしまをご覧ください。

対馬市の財政指数の一つである「将来負担率」（借金の度合い）は近年上昇傾向にあり、将来の返済や財政負担が重くなっていることを示しています。一方で、基金（貯金）は毎年、減少しています【図1】。

近年大規模な道路改良工事等を実施しており、実質単年度収支も3年連続で赤字が拡大しています【下表】。

年 度	単年度収支（千円）
R4年度	△ 99,118
R5年度	△ 306,037
R6年度	△ 497,268

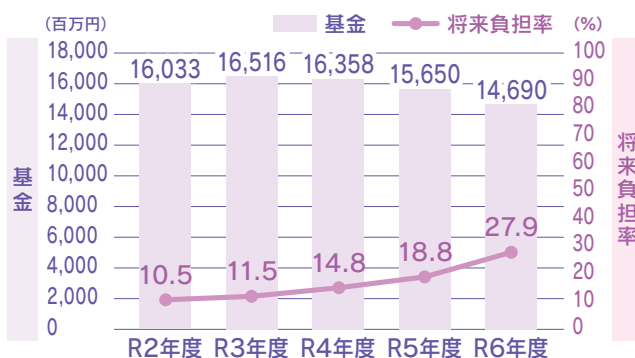


図1 対馬市の基金(貯金)と将来負担率(借金の度合い)の推移

【委員からの意見】

「収入に合わせて支出を抑える」という行財政の原則に基づき、既存事業の抜本的な見直しを行い、財政規律を守るべき。

【財政当局】

将来負担が過重にならぬよう努める。

もっと詳しく教えて!!

Q. 将来負担率って、そもそも何ですか？

A. 将来、対馬市が支払っていく必要のあるお金の重さを示す指標です。

家庭にたとえると、住宅ローンや車のローン、これから支払う予定の費用等が、その家の収入に対してどれくらいあるかを見るものです。「今の生活ができていくか」ではなく、将来に向けて無理のない家計かどうかを確認するための数字です。

Q. 市の将来負担率は、今どうなっていますか？

A. 年々、少しずつ高くなっていますが、すぐ財政が破綻する状況ではありません。

対馬市では近年、庁舎の建て替え、新しい船の建造、病院への支援など、将来にわたって大きな支出が必要な事業が続いています。その影響で、今後益々、将来負担は増え、市の貯金は減るという状況が危惧されます。国が示す基準を大きく超えているわけではなく、市のサービスがすぐに止まるような状態ではありません。

Q. なぜ議会は、この数字を重視していますか？

A. 市の将来と、次の世代の負担に直結するからです。

将来負担率が高くなりすぎると、新しい取り組みができなくなる、次の世代に負担を先送りしてしまうといった影響が出てくる恐れがあります。議会は、本当に必要な事業か、将来の負担に見合っているか、既存事業を見直せるところはないかという視点で、市の財政をチェックしています。

最近のホットピックス

福岡市にある対馬市のアンテナショップ・レストラン「よりあい処」は、対馬の物産や観光のPR活動の拠点として、長年にわたり重要な役割を果たしてきました。しかし、家賃月額220万円等の支出が大きく、財政面から事業の継続性に課題がありました。議会として、現地に出向き、調査・検討を行ってきました。この度、市長から店舗を閉店する提案があり、議会では事業の廃止を決めました。PR活動に関する今後の事業展開や必要性について、議会でも議論を進めてまいります。

議案審査の概要

市執行部から提出された議案を、それぞれ所管の常任委員会で詳しく審査しました。主な議案審査の内容をお知らせします。

【産業建設委員会】

議案第66号 令和7年度対馬市一般会計補正予算(第7号)について、慎重に審査し、原案どおり可決すべきと決定しました。

委員会では、一般会計補正予算、1議案を審査しました。一般会計補正予算のうち、対馬地域商社に対しての出資金については、多くの質疑・意見が集中し、2日間にわたり委員会を開催し、慎重に審査を行いました。

対馬地域商社に対する 出資金の妥当性に質疑集中

出資金・貸付金の妥当性、今後の中長期的な事業計画の策定、未利用魚の活用、高付加価値商品の開発、国内・海外向けの市場開拓、地産地消によるふるさと納税返礼品の強化、財務担当・専門的人材の採用、財務状況について対馬市及び市議会が定期的に関与していくことが望ましいなど、多くの意見・提案がありました。

【総務文教厚生委員会】

補正予算や税条例改正、乳児等通園支援事業等、5議案を審査し、いずれも原案どおり可決すべきと決定しました。

委員会では、一般会計補正予算、職員特殊勤務手当条例、税条例改正、乳児等通園支援事業条例、財産の無償貸付の5議案を審査しました。各事業の必要性や市民への影響、制度運用の適正性について質疑を行い、慎重に審査を行いました。

ピックアップ!

議案第74号 対馬市税条例の一部を改正する条例

市民税・固定資産税の普通徴収の納期を9期から4期へ見直し、分割回数を減らすことで、事務の効率化と負担軽減を図ります。納税者の混乱を防ぐため、開始時期や変更内容の丁寧な周知が必要であるという意見が出されました。

長崎県病院企業団議会報告

長崎県病院企業団議会議員 針谷 広己

令和7年8月議員全員協議会に出席し、病院企業団決算の赤字状況や、上五島病院の分娩休止等を議論しました。

令和6年度の病院企業団決算は、人事院勧告による人件費の増加や外来患者数の減少で、約27億円の赤字でした。上五島病院の昨年10月からの分娩休止、医療搬送用ヘリの整備不良による長期運休や、壱岐病院の増改築工事の入札辞退等、多くの課題が残ります。今後、上対馬病院の建て替え計画に影響が及ぶ可能性もあります。



長崎県病院企業団とは・・・

長崎県と離島・半島地域(島原市・南島原市・雲仙市・五島市・新上五島町・対馬市・壱岐市)の6市1町が共同で設立した特別地方公共団体(一部事務組合)で、8病院3診療所を運営しています。離島・過疎地域における医師確保や救急医療、専門医療など地域住民の健康を守るため、地域医療の安定的な提供と経営基盤の強化を目的としています。

市政を問う

会派代表質問は「新友会」、一般質問は12人が登壇し、活発な質疑応答が展開されました。

一般質問等の会議録は、3月上旬に掲載予定です。



会派代表質問



一般質問



会派代表質問



一般質問等の会議録は、3月上旬に掲載予定です。

質問者

会派 新友会

代表 吉野 元 議員

関連
質問者 諸松 瀬里奈 議員
針谷 広己 議員



質問

市職員の能力向上と組織力強化への人事戦略

働きたくなる役所の組織づくりに向けた人事評価制度の改善策と管理職の研修制度の策は。

市長の回答概要

人事評価制度が機能するように、まず職員の熟度を高める。管理職向けの新たな研修を実施し、指導力強化を図る。

議員の主張・ポイント

多様な若手人材の昇給や昇進制度の取り入れにより、変化に強い市役所に。やる気のでる職場づくりには「ありがとう」運動が鍵！

諸松議員

質問

男性の育休取得等、誰もが活躍できる職場環境の整備への取組は。

市長の回答概要

職員研修や会計年度任用職員の任用などを含めた検討を進め、制度の理解と取得を促進する。

針谷議員

質問

専門職における採用試験の工夫と、専門職の人材確保・育成への考え方は。

市長の回答概要

公募は、SNSの利活用と試験内容の見直しを既に実施している。キャリアパスの考えはない。

一般質問



一般質問等の会議録は、3月上旬に掲載予定です。

質問

選挙公営制度採用による 公費負担の在り方

選挙公営制度による公費負担に、候補者間でかなりの格差があり、運用や捉え方など適正であったか。

市長の回答概要

公費負担は、条例に定める限度内による適正な支出であるが、今後、市民が納得する運用の在り方について検討する。

議員の主張・ポイント

全てが公金であり市民の税金である。最小限の支出で、最大限の効果を出し、市民の皆様に充分配慮していただきたい。

質問者

波田 政和 議員



質問

厳原小学校新築建設工事に伴う 予定地の選定

予定地の変更の見直しはないのか。清水ヶ丘周辺の文化財指定解除への取組は、どこまで進んでいるのか。

市長の回答概要

協議の結果、指定解除は出来ないとの事であった。市街地には適した平地が無い事などから、現校舎用地での建替を検討する。

議員の主張・ポイント

半世紀に一度の大事業である。公金を使用するため、子ども達のサポートをしながら、素早く対処してほしい。

質問

椎根地区ゲートボール場の トイレ改修

ゲートボール場のトイレが経年劣化もあり、夏場は特に使いづらさを感じているので、改修の検討をお願いしたい。

教育長の回答概要

地域マネージャー制度の中で、原材料を市が負担する事業もあるので、担当部署に相談し、利用していただきたい。

議員の主張・ポイント

子育て・若者世代対策同様に、高齢者への支援は市の大きな課題であるので、利用者負担の少ない支援策の検討を！

質問者

内山 吉寿 議員



質問

各運動公園テニスコートの 改修計画

全島のテニスコートが改修時期にきていると思うが、市の改修計画を伺いたい。

教育長の回答概要

特に状態が悪い久田テニスコートから予算等協議しながら、順次、検討・対応していきたい。

議員の主張・ポイント

子ども達の技術力向上、市民のスポーツ振興意識向上のために、早急な改修計画・実施をお願いしたい。

質問

有人国境離島法の効果と 延長・拡充

国境離島新法の効果・恩恵と、延長・拡充についての取組、今後のさらなる要望活動の重要性と制度を活用した活性化策を問う。

市長の回答概要

航路・航空路運賃低廉化をはじめ、様々な政策により多大な恩恵を受けている。この有人国境離島法の延長・拡充が必要である。市民とともに今後も要望活動を進めていく。

議員の主張・ポイント

4つの大きな補助事業の中でも、雇用機会の拡充について、官民の連携により改善に努めていただきたい。

質問者

佐伯 達也 議員



質問

ポイ捨て及び不法投棄の 現状と防止対策

ポイ捨て及び不法投棄の現状認識と、現在までの対策状況と今後の対策について問う。

市長の回答概要

関係機関と連携しながら対策に取り組んでいるが、なかなか減少しない状況である。今後は提案いただいた対策も含めて、不法投棄のない美しいまちづくりを進める。

議員の主張・ポイント

抑止効果のある対策として、試験的な監視カメラの設置、警察の協力を得ながらのパトロール範囲拡大等による不法投棄削減を提案。

一般質問



一般質問等の会議録は、3月上旬に掲載予定です。

質問

あそふベイパークの整備計画の推進

対馬の花「玄海ツツジ」の保護対策と、観光客へのおもてなしとして、季節ごとに観賞し楽しめる対馬独自の公園整備について。

市長の回答概要

ツツジの保護については、有効な対策を段階的に取り組み、協議会において専門的な意見を伺いながら検討していく。

議員の主張・ポイント

有害鳥獣対策について、短中長期的な面から実施に向けて検討してもらいたい。

質問者

安田 寿和
議員



質問

災害時における救急車の搬送体制の確立

災害時において、道路が通行不能となった場合の救急車要請の対応について。

市長の回答概要

迂回路のない通行止め箇所でも色々な想定をし、対策を準備して、安全に病院に搬送できるよう考えている。

議員の主張・ポイント

災害はいつどこで発生するかわからないので、市民が安全で、安心できる搬送体制を確立していただきたい。

質問

市の防犯対策

市内において、機械類、釣り竿、リール等の盗難、また車上荒らしが増えているが、市としての対策は。

市長の回答概要

団体等からの要望があれば、防犯カメラの設置について、支援制度を検討する。

議員の主張・ポイント

市民が安心して暮らせるよう、是非、設置をお願いしたい。

質問者

島居 真吾
議員



質問

上県の歯科医師の確保

現在、佐須奈及び仁田歯科診療所は歯科医師不在による休診となり、地域住民が非常に困っておられるが、今後、市の対応は。

市長の回答概要

歯科医師の募集とともに、その間には高齢者の方にはバス料金の補助等も考えていきたい。もう少し時間をいただきたい。

議員の主張・ポイント

歯科医師確保に向けて、努力をしていただきたい。

質問

総合計画の振り返りとビジョン

対馬の将来像を共有するビジョンと第2次総合計画の成果、人口減少対策の検証を問う。

市長の回答概要

総合計画は36項目、目標数値の90%以上達成。人口減少対策も効果ありと認識。次期総合計画は各部会等で策定中。

議員の主張・ポイント

今、何を優先すべきかが、おのずと見えてくるような総合計画の策定を望む。

質問者

諸松瀬里奈
議員



質問

観光キャパシティとバランス

国内外観光客数がそれぞれ順調に伸びているが、対馬の受入れ容量を考慮した客層バランスをどう方針づけるか。

市長の回答概要

韓国人観光客は現在程度の人数を維持しつつ、国内観光客誘致に向けて取り組む。

議員の主張・ポイント

人数は目標をクリアしたので、次のステージでは観光消費額に着目して、「稼ぐ観光」を目指してほしい。

一般質問



一般質問等の会議録は、3月上旬に掲載予定です。

質問

採捕停止命令を受けたスルメイカ漁

スルメイカ漁に対するTAC制度の目的及び影響を受ける漁業者に対して支援する考えはないのか見解を求める。

市長の回答概要

今回の資金貸付について、利子補給助成等の支援ができないか検討する。

議員の主張・ポイント

長崎県が決定した沿岸漁業等振興資金に対し、市としても貸付利子の助成が必要ではないか。

質問者

上野洋次郎
議員



質問

国の補正予算の早期執行

総合経済対策等成立した場合、早急に物価高対策として、市民を支援する必要があると思うが見解を求める。

市長の回答概要

国が示す事業メニューを基に実情を精査し、国の予算成立後、速やかに予算計上できるよう取り組んでいく。

議員の主張・ポイント

重点支援交付金の市としての活用メニューの早期提示、子育て支援の子ども一人あたり2万円の早期現金給付。

質問

市有施設における空調機材等共用制度の構築

使われていない防災用空調設備等を、市民体育館等の暑熱対策として有効活用する制度を構築できないか。

市長の回答概要

災害対応に支障をきたさない範囲で、貸し出しを継続する。

議員の主張・ポイント

整備が進むまでの間、市が保有する機材や空調設備を、利用者や観客席等でも柔軟に使えるようにするべき。

質問者

東 圭一
議員



質問

島おこし協働隊制度や定着率の現状

島おこし協働隊の実績と、定着率向上に向けた募集・支援体制の改善方針を問う。

市長の回答概要

派遣型・委託型採用を導入し、協働隊人材確保と定着率の向上、地域課題解決を推進する。

議員の主張・ポイント

協働隊制度は単なる人員補充ではなく、任期満了後の定住と、地域への定着を最重要目標として運用すべき。

質問

今後の診療所の運営と医療提供体制の確保

医師不足等による市立診療所の休止が懸念されるが、今後の診療所の運営と医療提供体制をどう確保するのか。

市長の回答概要

診療所の休止時は事前に地区に相談し、移動支援を検討する。今後は一重へき地診療所でオンライン診療を試行予定。

議員の主張・ポイント

診療所の休止に関わらず、受診を継続できる体制づくりが重要だ。移動支援との連携やオンライン診療の推進が必要だ。

質問者

針谷 広己
議員



質問

訪問介護の休止に伴う生活支援体制再構築

介護人材不足等で訪問介護事業所の休止が進む中、今後の市内の生活支援体制をどう再構築するのか。

市長の回答概要

訪問介護の代替として、シルバー人材センターや地域ボランティア等を活用し、生活支援の拡充を進める。

議員の主張・ポイント

訪問介護は在宅生活を支える最後の砦。関係者間の会議だけにとどまらず、各地区の声を踏まえた生活支援体制が必要だ。

一般質問



一般質問等の会議録は、3月上旬に掲載予定です。

質問

対馬市の危機管理体制

激甚災害や有事の際における、対馬島民の島外への受入自治体避難先や、輸送手段・収容施設（ホテル）等の避難計画を考えているのか。

市長の回答概要

国民保護計画に基づき、有事や災害時の体制を整備し、全住民の島外避難を視野に、県や輸送機関と連携した避難要領を定めている。

議員の主張・ポイント

国、県、関係機関とも協議を重ね、マニュアルを作成して、市民に共有していただきたい。

質問者

糸瀬 雅之
議員



質問

旧浅海中学校の売却問題

対馬市は、地元住民の理解が得られず、今年度中の売却は難しいとの判断をされているが、今後の売却に向けての方向性・説明会の実施予定は。

市長の回答概要

今後は、陸上自衛隊、九州防衛局、対馬市と売却に向けて交渉は継続して行くことを確認している。

議員の主張・ポイント

地元住民の要望を聞き入れ、騒音対策、避難施設の問題等、熱意をもって理解を求め、売却に向けて積極的に交渉を進めていただきたい。

質問

上対馬病院建替え後ろ倒しに伴う計画見直し

後ろ倒し計画通りになることが理想的だが、診療所化を回避するために、大改修も検討すべきではないか。

市長の回答概要

大改修の検討は行わない。空調・給排水設備の老朽化が激しく、騒音・振動問題もあり、新築しか考えられない。

議員の主張・ポイント

当初建替え総工費約20億円が、約2倍の40億円に膨れ上がっている厳しい現状に、もっと目を向けるべきだ。

質問者

協本 啓喜
議員



質問

対馬市の貿易振興

上対馬病院建替え予定地を白紙に戻し、貿易振興拠点として活用する再考はできないか。

市長の回答概要

市民の命に関わる病院建設予定地と、貿易振興拠点とを天秤にかけようようなことは考えていない。

議員の主張・ポイント

病院は命に関わるというのであれば、津波対策等も考慮に入れば、他候補地と天秤にかけ必要がある。

質問

藻場の自然増殖

海水温の上昇により藻場は絶滅したという情報も上がっていたが、最近南方系の藻場形成が一部進んでいるとの実態を尋ねる。

市長の回答概要

在来種に加え南方系海藻類の繁殖が確認されており、僅かながらであるが、藻場の回復傾向が見受けられる。

議員の主張・ポイント

南方系は春藻場であり、夏以降は枯れる。周年生き続ける四季藻場が定着する取組が最も必要と思われる。

質問者

大浦 孝司
議員



質問

アカムツの沿岸操業の実態

近年水揚げが著しく減少しているアカムツの実態についてどう把握しているか。その対応策は。

市長の回答概要

県や関係団体と協力し、沿岸漁業と沖合漁業が共存できるよう、持続的な資源管理体制の構築を進めていく。

議員の主張・ポイント

アカムツの島内漁獲高は、5年前228 tに対し、昨年61 tの著しい減少。底引、旋網操業が過熱し、資源は枯渇する恐れがある。

常任委員会等調査報告

行政視察報告

産業建設委員会

実施日 令和7年10月21日～23日

参加委員 糸瀬委員長・佐伯副委員長・島居委員・上野委員・波田委員・黒田委員・東委員・吉野委員

■ 視察先① クラウドナインファーム
(長崎県東彼杵町)

■ 視 察 日 令和7年10月21日

■ 視察内容 サーモンの陸上養殖について

クラウドナインファームは、地下水を使ったサーモン陸上養殖を展開し、稚魚から約1年で2～3kgへ育成。電気代・餌代等の経費が抑えられ、高い利益率を確保。県内ホテルや大型スーパーで需要が高く、供給が追いつかない状況。対馬でも新たな水産ビジネスとして期待が持てる。



■ 視察先② 周防大島町役場
(山口県周防大島町)

■ 視 察 日 令和7年10月22日

■ 視察内容 体験型観光及び民泊事業について

周防大島町は、温暖な気候と海山の資源を生かし、体験型修学旅行と民泊を推進。多彩な体験メニューや専門職員による営業で、交流人口104万人を達成し、受入体制づくりは対馬の観光振興にも大変参考となる取組であった。今後は、受入家庭の高齢化が課題で、持続的な体制整備の重要性も示唆された。



実施日 令和7年10月29日～31日

参加委員 島居委員長・吉野副委員長・脇本委員・東委員・諸松委員・針谷委員

視察内容 議会広報による情報発信について～議会だよりの企画・編集について～

■ 視察先① 福岡県糸島市議会

議会だよりの紙面構成や見出しの工夫、市民に伝わりやすい文章表現について視察しました。一般質問のその後を追う記事構成や、写真配置の工夫等、広報力向上に向けた取組を学びました。



■ 視察先② 熊本県御船町議会

議会広報の編集体制や委員会の役割分担、校正作業の進め方について視察しました。限られた人員の中でも質を維持する工夫や、住民目線を意識した編集方針が参考となりました。

■ 視察先③ 福岡県久留米市議会

議会だよりのリニューアル事例を視察し、デザイン刷新の考え方や、情報整理の方法を学びました。文字量の読みやすさのバランス、市民の関心を引く構成づくりが印象的でした。



議会広報編集特別委員会

常任委員会や特別委員会では、議案の審査だけではなく、市民生活に深く関わることを調査研究する、所管事務調査や行政視察などを行っています。今回は、10月・11月の活動状況をお知らせします。

所管事務調査報告

本委員会では、令和7年11月17日に対馬地域商社の運営状況と中対馬未来づくりアクションプランの進捗について調査しました。現地視察や説明を通じ、成果と課題を確認し、今後は関係者の連携と進捗の把握、市や議会による支援の重要性を共有しました。

【対馬地域商社】

当一般財団法人は、主に島内水産物の加工と販路拡大を担っています。原料不足と原料代の高騰により経営が大変厳しい状況です。仕入方法の改善や島内流通、販路拡大、直売所（心まち）やふるさと納税の返礼品の充実など、今後の事業展開と行政支援の必要性について議論されました。

【中対馬未来づくりアクションプラン】

中対馬を舞台にした観光と地域活性化を目指す計画について調査しました。神話の里自然公園を中心に施設整備や体験型事業の取組が進んでいますが、住民や事業者、関係団体、役所の観光部局との連携強化や全体の事業計画の見直し等の課題を指摘しました。



あなご弁当



本委員会は、令和7年11月20日に就学に介助や看護支援を要する児童・生徒の現状と、令和9年度開校予定の県立虹の原特別支援学校対馬分校小学部・中学部について、厳原中学校で現地調査を行い、支援における人材確保と就学支援体制の課題を確認しました。

【介助員の配置状況と人材確保の課題】

介助員は、市内の幼稚園・こども園に11名、小学校に46名、中学校に19名配置していますが、小・中学校では欠員が生じており、教職員が対応しています。介助員の雇用条件の見直しや積極的な募集が求められます。

【医療的ケア児への支援と特別支援学校開校に向けた課題】

医療的ケア児の支援で、各小中学校に欠員なく看護師を配置しています。また、特別支援学校開校に向けた見学会や就学希望調査等を行います。スクールバスの運行や卒業後の就労支援を含めた体制の整備に努めて欲しいとの意見が多くありました。



議員紹介

議席番号順に議員の横顔を紹介します。



内山議員の幼少時代

うちやま きちひさ
議席番号5番 内山 吉寿

座右の銘

「夫れ孝は徳の本なり（それこうはとくのもとなり）」
親孝行の心こそがすべての徳の土台である。

今、一番ハマっていること

出来なかったプレーが出来た瞬間の、子ども達の顔を見ること。

対馬の好きな場所

地元久根田舎が一望できる安徳天皇御陵墓

さいき たつや
議席番号6番 佐伯 達也

座右の銘

「心に描いたとおりになる」経営者である稲森和夫氏の言葉で、強く願う思いは行動となり、必ず実現する方向へ導かれる。

今、一番ハマっていること

これと言ってないのですが・・・
時間があるときは、ウォーキングか山歩きをしたい。

対馬の好きな場所

金田城が見える箕形（家の前）からの景色。



令和8年元旦の日の出



盆踊り稽古風景

やすだ としかず
議席番号7番 安田 壽和

座右の銘

「一期一会」
今この瞬間を大切にして、誠意をもって向き合っていきます。

今、一番ハマっていること

豊玉小学校の児童に、盆踊りの継承活動を29年間行っています。

対馬の好きな場所

烏帽子岳展望台からの浅茅湾

いとせ まさゆき
議席番号8番 糸瀬 雅之

座右の銘

君がどんなに遠い夢を見ても、君自身が可能性を信じる限り、それは手の届く所に必ずあることを信じる。

今、一番ハマっていること

作家 門田隆将チャンネル動画視聴。

対馬の好きな場所

対馬市内の美味しい居酒屋。



約40年前の青春時代

特集 有人国境離島法の延長をみんなで目指していこう!

「有人国境離島法」の2027年度からの改正・延長を求め、市内で総決起大会が開催されました。会場には国・県・市の議員、行政、市民など約700人が集まり、国に法律延長や支援制度の充実を求めることを確認しました。

大会では、県選出の国会議員や県知事、県議から、改正・延長への意気込みを熱弁いただきました。対馬市国境離島新法協議会の原田繁盛会長が「一人一人の声を力に変えていこう」と呼びかけました。春田新一市議会議長が、地域の実情に合った法改正と確実な延長を求める決議文を読み上げ、参加者全員の賛同で採択されました。

また、上野洋次郎国境離島活性化推進特別委員長の音頭により、参加者全員でガンバローコールを行い、法改正・延長へ向けて結束力を高め、大会を締めくくりました。

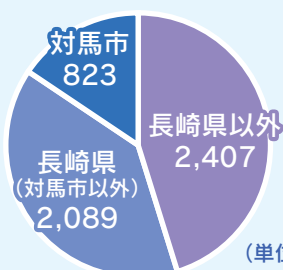
決議文のポイント

国境に位置する有人離島・対馬が国家的役割を果たし続けるため、地域実情に即した有人国境離島法の改正と確実な延長を求めること。あわせて、生活・産業を支える支援制度の充実、必要予算の確保、港湾整備や国の関係機関設置、防衛体制の強化を強く要望すること。



有人国境離島法の恩恵 ～10年間を振り返る～

■ 年間でどのくらい国のお金が入るの？



(単位:百万円)

図:令和7年度の交付金の交付決定額

特定有人国境離島に指定される8都道府県・15地域・71島のうち、対馬市には、8億2千万円(全体予算の15%)が配分されました。

■ これまでにどのくらい国のお金が入ってたの？

平成29年度から令和6年度までの総事業費は103億円(対馬市分)。そのうち、国交付金57億円が対馬市に配分されました。

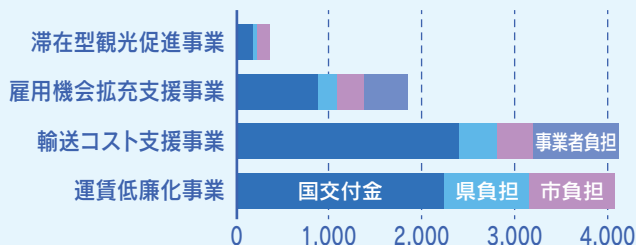


図:有人国境離島地域社会維持推進交付金の事業内訳 (単位:百万円)

■ どんな成果が得られたの？

対馬に雇用が生まれ、観光が活性化した。

◎雇用機会の拡充

211の事業者が創業/事業拡大を行い、267人の雇用創出。

◎滞在型観光の促進

宿泊する観光客が、平成29年度48.8%から令和6年度82.9%に増加。

【将来推計人口からみた人口増減】

令和27年の人口推定値13,711人(平成30年推計)
→15,434人(令和5年推計)

当時よりも1,703人の減少予測が改善

主な活動報告

議会議員は、定例会や臨時会のほか、委員会や各種会議、市内の行事等に参加しています。議員の11月～1月の主な活動を報告します。

月 日	内 容
R7年11月 1日	厳原町女性団体研修会
11月 2日	ながさきピース文化祭2025短歌の祭典
11月 7日	対馬市戦没者追悼式、対馬市危険物安全協会創立50周年記念式典
11月10日	第34回全国市議会議長会基地協議会九州・沖縄部会総会(～11日)
11月13日	県知事及び県議会議長への要望活動(～14日)
11月17日	産業建設委員会所管事務調査
11月19日	長崎県離島振興市町村議会議長会県知事陳情活動、議長・副議長及び事務局長研修会(～20日)
11月20日	総務文教厚生委員会所管事務調査
11月21日	一般国道382号道路改良工事((仮称)檜滝トンネル)貫通式
11月28日	議会運営委員会
11月29日	長崎県立対馬高等学校創立120周年記念式典
11月30日	第3回こころアクションフォーラムin対馬
12月 2日	令和7年第4回対馬市議会定例会(～15日)
12月 6日	有人国境離島法改正・延長対馬市総決起大会
12月11日	議会基本条例検証部会(※1)
12月16日	有人国境離島法の改正・延長に向けた要望活動
12月24日	長崎県病院企業団議会第2回定例会
12月25日	議会活性化部会(※2)
R8年 1月 3日	二十歳を祝う会
1月 5日	消防出初式
1月 7日	(一社)長崎県建設業協会対馬支部新年意見交換懇親会
1月16日	臨時会、議員全員協議会、対馬市商工会新春賀詞交換会、総務文教厚生委員会所管事務調査
1月18日	福岡対馬会新年祝賀会
1月21日	総務文教厚生委員会行政視察(～23日)、北海道議会行政視察
1月25日	第6回対馬市社会福祉大会
1月27日	与那国町議会行政視察、議会広報編集特別委員会、議会基本条例検証部会(※1)、議会活性化部会(※2)
1月30日	全国離島振興市町村議会議長会第2回総会(オンライン会議)、議員全員協議会



消防出初式

(※1) (※2) 9月定例会で設置した、議会改革特別委員会の部会で、市民の皆さんがもっと市政に関わりやすい環境を作るように準備中です。

編集後記

議会広報編集特別委員会は、福岡県糸島市、熊本県御船町、福岡県久留米市へ行政視察を行いました。予算・時間等の制限がある中、それぞれに工夫を凝らした紙面構成をされており、大変勉強になりました。例えば、私たちはフルカラーの方が見やすい、とも考えておりましたが、シンプルな色使いでも工夫次第で紙面を見やすくできるということがわかりました。

行政視察で学んだ結果が、今回の議会だよりの随所に反映されています。前回発刊後に貴重なご意見をいただき、見やすくなるように改善しました。議会活動に興味を持っていただく方が更に増えるように、委員一同取り組んでまいりますので、これからもご意見・ご感想をお待ちしています。(文責 諸松 瀬里奈)



熊本県御船町議会議場にて

議会広報編集特別委員会

島居 真吾・吉野 元・脇本 啓喜
東 圭一・諸松瀬里奈・針谷 広己